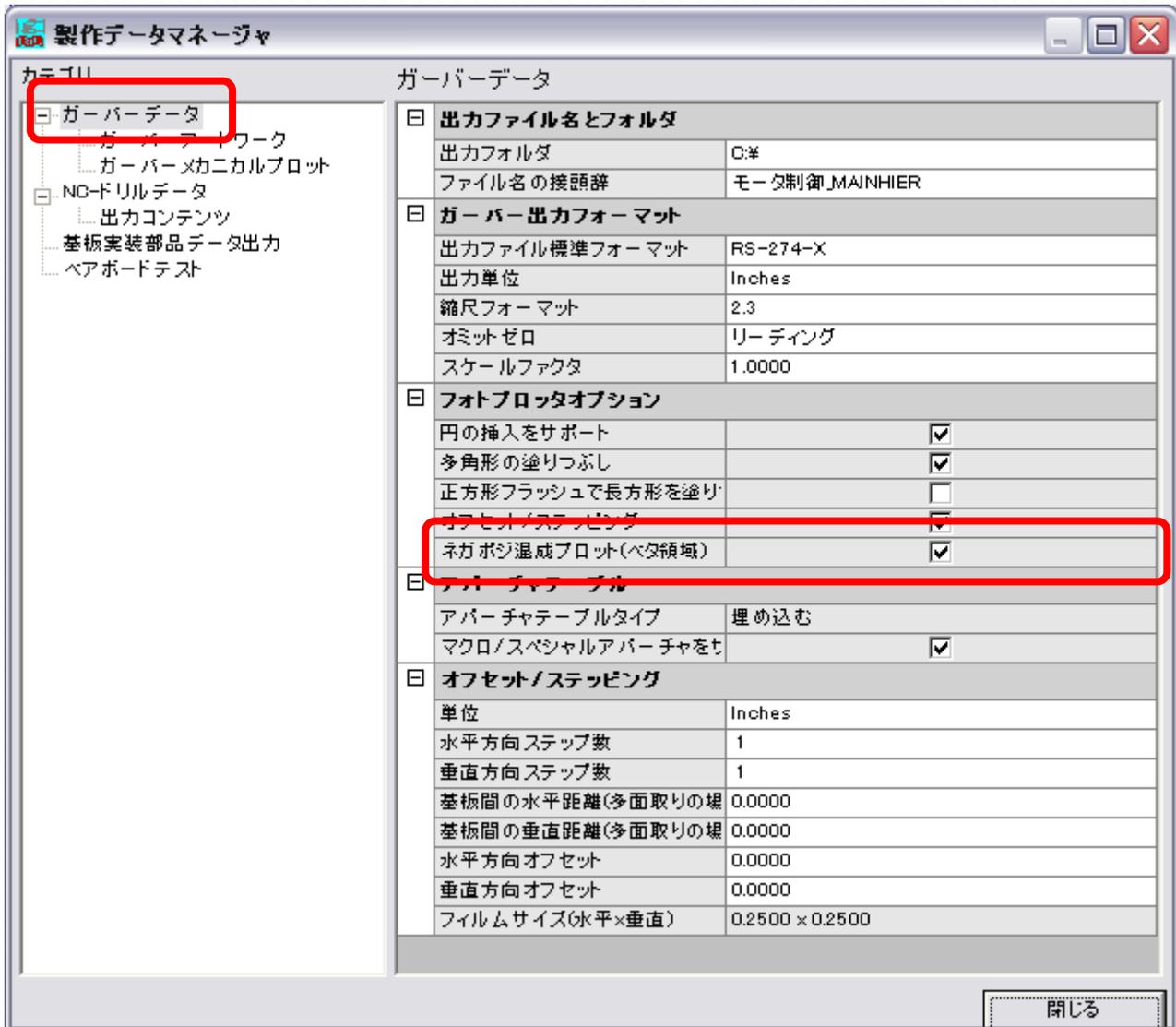


I. ベタを含むパターンのデータ出力設定

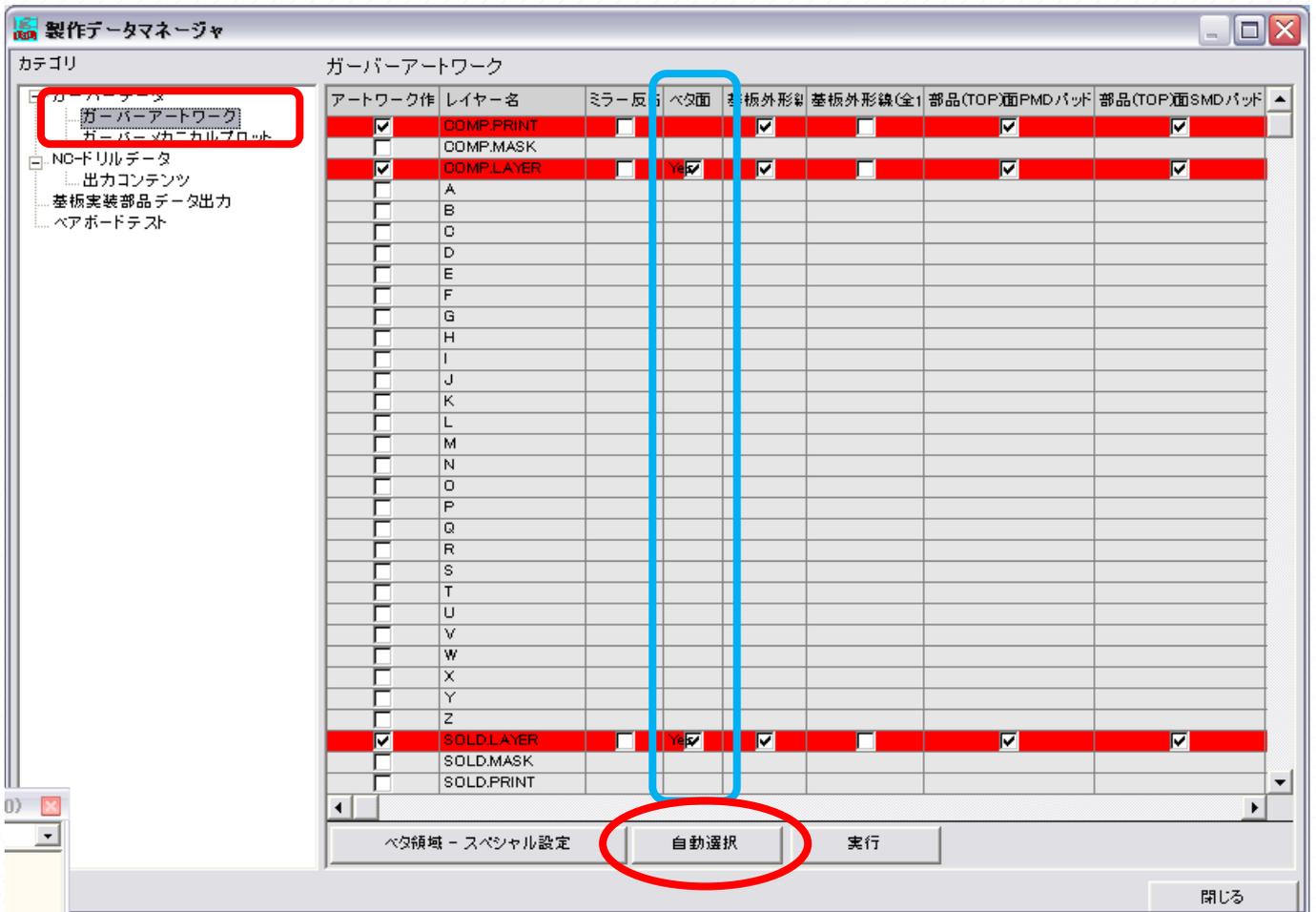
通常ベタを含む基板の場合でも、特に設定を変更する必要はありません。各項目の確認を行います。

ガーバーデータフォーマット設定画面にて“ネガポジ混成プロット”にチェックが入っているかどうか確認して下さい。

チェックが入っている場合、1つのガーバーファイルにパターンとベタ面が併せて出力されます。チェックが無い場合は、1つのパターン面であっても、2つのファイルが出力されます（後頁で確認画面あり）



“自動選択” ボタンをクリックすると使用した階層にチェックが入ります。その際ベタが作成された階層には“ベタ面”の項目にチェックが入り“YES”と重ねて表示されます。この時、チェックが入らない場合は、正しくベタが作成されていない場合があります。レイアウトエディタへ戻り、ベタを再確認して下さい。



上記で“実行”クリックすると下図が表示されますが、ネガポジ混成プロットを有効にしていると、1つのファイルにまとめてベタが出力されることがわかります。出力の際には、この画面で再度“実行”をクリックします。

OPUSERXP - ガーバー出力

アートワーク | 使用アパーチャ

レイヤー	ポジプロット	ネガプロット
COMP.PRINT	モータ制御_00.GBR	
COMP.LAYER	モータ制御_02.GBR	モータ制御_02.GBR
SOLD.LAYER	モータ制御_29.GBR	モータ制御_29.GBR

レポートファイル
モータ制御_AW.GJR

出力先
ディスクファイル E:\OPUSER171 マニュアル*マニュアル作成用プロジェクト

『実行』で処理を開始します

実行 閉じる

ネガポジ混成プロットを有効にしていない場合は、2つのファイルに分割して出力します。出力の際には、この画面で再度“実行”をクリックします。

OPUSERXP - ガーバー出力

アートワーク | 使用アパーチャ

レイヤー	ポジプロット	ネガプロット
COMP.PRINT	モータ制御_00.GBR	
COMP.LAYER	モータ制御_02.GBR	モータ制御_52.GBR
SOLD.LAYER	モータ制御_29.GBR	モータ制御_79.GBR

レポートファイル
モータ制御_AW.GJR

出力先
ディスクファイル E:\OPUSER171 マニュアル*マニュアル作成用プロジェクト

『実行』で処理を開始します

実行 閉じる